

- 下記は、丸三ファンドラップサービス（円建ファンドラップ）重要情報シート（個別商品編）に記載の質問例に関する回答例となります。お客様により回答例が異なる場合がございますので、ご注意ください。

1 商品等の内容

① あなたの会社が提供する商品のうち、このサービスが、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

- お客様の資産運用の目的、実現までの期間、課題など詳細をお伺いし、当社独自のシステムで分析します。
- ヒアリングの結果、お客様一人ひとりにあわせた運用計画を作成し、運用目的（ゴール）や目標に適した運用コースで運用することをご提案します。
- お客様のご意向や状況の変化などを定期的にお伺いし、当初の状況から変化があった場合には、運用目的（ゴール）の実現に向けた運用計画を再構築し、運用の見直しをご提案します。

② このサービスを申込みした場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

- 契約時にあらかじめ1年間のフォローアップの頻度をお選びいただけます。1年に2回の対面フォローを含む毎月のフォロー、1年に1回の対面フォローを含む2カ月ごとのフォロー、1年に1回の対面フォローを含む3カ月ごとのフォローから頻度を選んでいただけます。頻度は後からでも変更できます。
- 3カ月ごとに運用資産の時価評価額や運用損益等を記載した運用報告書をお送りします。
- お客様のご意向やライフプランに変更があった際は、運用計画の見直しを行い、ご投資金額の増減額、運用コースの変更、付帯サービスの追加や変更、解約を行うことができます。

③ このサービスが複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

- メリットは、あらかじめ約束した定期的なフォローが受けられる点や自動でリバランスされる点が挙げられます。また、購入時手数料は発生しません。
- デメリットは、お客様ご自身で公募投資信託を購入いただく場合に比べ、換金までに日数がかかる点（お申込日から起算して13営業日程度要します。）や、投資一任契約を締結していただく都合上、お客様ご自身の判断による株式や公募投資信託を含めた運用ができない点がございます。

④ 投資一任契約とは何か。投資信託を購入するのとどう違うのか。

- 投資一任契約とは、お客様が投資一任会社としての丸三証券に、有価証券の投資判断の全部を一任し、この投資判断に基づいてお客様に代わって投資するために必要な権限を当社に委託する契約です。
- 投資信託との主な違いは、
 - お客様の運用目的（ゴール）を基にどのように運用するかをご提案、決定します。
 - 適宜、投資銘柄の入れ替え、資産配分の見直しを当社が行います。
 - 長期運用を前提とし、あらかじめ決められた頻度でのフォローアップが確約されています。

2 リスクと運用実績（本サービスは元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

⑤ 上記リスクについて、私が理解できるように説明して欲しい。

- 投資におけるリスクとは、期待していた収益と運用結果の実際の収益が異なる可能性を指します。
- 丸三ファンドラップサービス（円建ファンドラップ）重要情報シート（個別商品編）に記載の通り、様々なリスクがあるため、投資の結果、運用資産額が増減します。
- 期待通りの収益を生まない可能性や、投資元本を下回ることもあります。
- 丸三ファンドラップサービスはほとんどの資産を為替ヘッジを行っていない米ドル建資産で運用しているため、円建資産への投資や、為替ヘッジを行った資産へ投資する他社のファンドラップ商品よりも、為替変動の影響を大きく受けます。

⑥ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明して欲しい。

- 本サービスの投資対象である組入投資信託が主に投資するのは、米国株式、世界債券です。組入投資信託のうち、最もリスクを抑えた運用コースの資産配分比率は、米国株式20%世界債券80%です。組入投資信託が世界債券として投資しているものと同じファンドを主な投資先としている公募投資信託が存在し、当該投資信託は個別で購入することができます。当該投資信託には米国株式が含まれていないため、相対的にリスクは低くなると考えられます。

3 費用（本サービスの保有には、費用が発生します）

⑦ 私がこのサービスに1,000万円申込みしたら、それぞれのコストが実際にいくらかかるか教えてほしい。

- 丸三ファンドラップサービスにてお客様に主にご負担いただく費用は、投資一任報酬と投資信託の信託報酬になります。
- 投資一任報酬は基準日の運用資産額に対して年率 税込1.10%です。基準日は年に4回ありますが、それぞれの基準日での運用資産額が1,000万円であれば、1年間で合計11万円を投資一任報酬としてお支払いいただくことになります。
- 信託報酬は純資産総額に対し、年率 税込0.3762～0.7722%が日々差し引かれます。例えば、1年間保有し、基準価額が変動しなかった場合に間接的にご負担いただく信託報酬の合計は、年間で37,620円～77,220円です。実際には、基準価額は日々変動しますので、事前にご負担いただく具体的な金額を提示することはできません。
- 詳細は「丸三ファンドラップサービス契約締結前交付書面」、「丸三ファンドラップサービス投資一任契約約款」、「投資信託説明書（交付目論見書）」等を交付いたしますので、内容をよくご確認ください。

⑧ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明して欲しい。

- 類似商品にバランス型投資信託が挙げられますが、購入代金に応じて購入時手数料が発生する場合があります。つみたてNISA対象の投資信託はファンドラップより費用が安くなります。ただし、つみたてNISAは一括で投資することができません。なお、当社ホームページ→「商品案内」→「投資信託」→「取扱い投資信託の基準価額」の欄の「【営業店でお取引いただけるお客様】（PDF）」で、分類毎に費用がより安い商品があるかご確認いただけます。

4 換金・解約の条件（本サービスを換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

⑨ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

- 解約は、運用開始日の3ヵ月後から可能となります。
- 全ての運用商品の換金が完了後、お取引店の口座へお振替します。（振替までにはお申込日から起算して13営業日程度要します。）
- 換金・解約の際に、お支払い済みの投資一任報酬は返金いたしませんので、ご注意ください。
- 市場の休場等により、換金日がずれることがあります。
- 異なる運用目的（ゴール）間の資金移動や運用コースの変更をお申込まれた直後の解約申込は、先にお申込みいただいた手続きが完了してからの受付となります。そのため、通常の解約よりお時間をいただく場合があります。

5 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

⑩ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

- 当社では、1978年に制定した「経営理念」において、「いついかなる場合にもお客様に対して奉仕する心を失うことのないよう誓う」ことを掲げ、お客様本位の企業活動に努めています。
- 当社は自社系列の運用子会社を持たないため、自社系列の運用会社の商品を優先的に提案することはありません。
- 当社の営業職員に対する業績評価上、本サービスの組入投資信託の販売が他の商品の販売より高く評価されることはありません。